

平成 28 年度  
スカラネット入力下書き用紙  
(大学・短期大学・専修学校専門課程)

スカラネット用ホームページアドレス (URL)

<http://www.sas.jasso.go.jp/>

インターネットによる奨学金申込み (スカラネット) にあたっては、「奨学金を希望する皆さんへ」(以下「奨学金案内」) を熟読し、申込内容を保護者 (親権者または未成年後見人) と相談して決めてください。

「奨学金案内」及び以下の注意事項を参照してこの下書き用紙に記入し、間違いがないことを点検した上で日本学生支援機構のスカラネット用ホームページにアクセスして入力してください。電話番号は保有していない場合を除き、すべての欄に入力してください。入力が完了すると、「奨学金申込情報一覧」(この画面を印刷するなどして保存しておくことをおすすめします) が表示されますので、内容を再確認し、送信ボタンを押してください。なお、送信ボタンを押した後に内容を訂正することはできません。

ご提供いただいた情報は、奨学金貸与業務 (返還業務を含む) のために利用され、その他の目的には利用されません。

氏名	学籍番号	学部・学科・分野

入力の際に必要な項目です。学校の担当者に必ず正しい名称を確認してください。

受付番号									

入力が完了し送信後、受付番号が画面に表示されます。必ず記入しておいてください。

**あなたの識別番号**

あなたの識別番号 (ユーザ ID とパスワード) を入力して、送信ボタンを押してください。

ユーザ ID

パスワード

パスワードはスカラネット入力時  
は非表示になります。  
入力がエラーになる場合は、  
入力した文字を目で見て確認する  
ため、最初にユーザ ID 欄に入力  
し、それをコピーして貼り付けて  
みてください。

**確認書の提出**

あなた (あなたが未成年 (20 歳未満) の場合は、あなたと親権者または後見人) は、「確認書」に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名・押印した「確認書」を提出しましたか。

◇貸与申込条件等

◇個人情報情報の取扱いに関する同意条項

※「個人情報情報の取扱いに関する同意条項」には、延滞するとあなたの個人情報個人信用情報機関に登録される等、重要な内容が記載されています。

提出しました。

提出していません。

右のボタンを押して規定等 (保証委託約款を含む) を確認し、了承する場合のみ、申込みを行ってください。

※規定等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

規定等を表示

「提出していません」を選択した場合はスカラネットの次の画面に進めません。学校に「確認書」を提出した後、再度、入力し直してください。

規定等の表示を行わないと、次画面へ進むことができません。

### A-日本学生支援機構奨学金の案内

#### ◆第一種奨学金

無利息の奨学金で、特に優れた学生及び生徒で経済的理由により著しく修学困難な者に貸与します。

#### ◆第二種奨学金

利息付きの奨学金（在学中は無利息）で、第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者に貸与します。

### B-誓約欄

日本学生支援機構理事長 殿

私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に「確認書」及び必要な証明書類を提出しました。奨学生に採用決定後は速やかに「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後は滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく記入することを誓約します。

誓約日 平成  年  月  日 氏名 (全角漢字)

半角数字 5文字以内 5文字以内

※誓約日は送信後訂正することができません。 氏名 (全角カナ)

15文字以内 15文字以内

誓約日はスカラネット入力日としてください。ここで入力した誓約日がD-あなたの返還誓約書情報における成年判定の基準日になります。

学生本人の本名を、全角漢字及び全角カナで入力してください。振込口座の名義は、ここで入力した氏名と同一のものに限ります。「奨学金案内」26ページ「文字入力」も参照してください。

氏名に外字、ヲは使用しないでください。  
(例) 高→高、崎→崎、吉→吉  
キコウ カラル→キコウ カオル

姓・名欄ともに、「スペース」は入力しないでください(ミドルネームはつなげて入力してください)。  
(例) 奨学 ジョン 太郎  
→奨学

名前が長い場合は、入るところまで入力してください。

### C-保証制度

1. あなたが選択する保証制度について教えてください。

- (1) 連帯保証人・保証人を選任します。
- (2) 機関保証に加入します。

希望する保証制度を選択してください。「奨学金案内」8ページを参照。

### D-あなたの返還誓約書情報

1. あなた自身について入力してください。

- (1) あなたのお名前は△△ ○○さんですね。
- (2) あなたの性別を選択してください。 (2) 男 女
- (3) あなたの生年月日を記入後、「成年判定」ボタンを押してください。  
(3) (和暦)   年  月  日生

- (4) あなたの住民票に記載されている住所を記入してください。  
(4) (郵便番号)  -

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降)

- (5) あなたの電話番号を記入してください。 (5)  -  -
- 携帯電話の電話番号を記入してください。 (携帯)  -  -

- (6) メールアドレスをお持ちの方はアドレスを半角60文字以内で記入してください。  
(6)

B-誓約欄で入力した姓名が表示されます。

和暦	西暦	和暦	西暦
平成 1	1989	平成 6	1994
2	1990	7	1995
3	1991	8	1996
4	1992	9	1997
5	1993	10	1998

参考

生年月日を入力し「成年判定」ボタンを押すと、年齢(成年か未成年か)に応じて「3.親権者について」以降が表示されます。元号(昭和/平成)の違いに注意してください。「成年判定」ボタンを押した後に、生年月日の入力間違いに気付いたときは、正しく入力直してから再度「成年判定」ボタンを押して下さい。成年判定は、B-誓約欄で入力した誓約日が基準日となります。

(4) 住民票に記載されている住所を事前に確認してください。

・住所の郵便番号を事前に確認してください。郵便番号入力後、必ず住所検索ボタンを押してください。入力した郵便番号に該当する住所が「住所1」に表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所1」に表示された住所以降を「住所2」に入力してください。  
※左記の住所の入力例を参照してください。  
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

### 住所の入力例

(郵便番号)  162 -  9999  ←押下

注意!  
表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

- 住所1(自動入力)  ○東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目
- 東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目
- 東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目

住所2(番地以降)  99-9 機構ハイツ 505

注意!  
※番地以降を入力してください。入力漏れがあると次の画面に進めません。  
なお、番地以降のない住所は、住所2欄に全角で「(ピリオド)」を入力してください。  
※マンション・アパートの名称にローマ数字(I・II・IIIなど)は使用できません。算用数字(1・2・3など)を入力してください。  
※住所2欄には、住所1欄の表示部分を入力しないでください。  
上記例の場合、住所1欄で「1丁目」を選択し、住所2欄に誤って「1丁目99-9 …」と入力した場合、届出内容は「1丁目1丁目99-9 …」となります。

2. 連帯保証人・保証人について

- (1) 連帯保証人について入力してください。  
 ・原則として、父母・兄弟姉妹やおじ・おば等にしてください。  
 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。  
 ・債務整理（破産等）中の人は、連帯保証人への選任は認められません。

(a) その氏名

(a) 漢字（全角漢字）   姓   名

カナ（全角カナ）

(b) その生年月日 (b) (和暦)   ▼ 年  月  日生

(c) あなたとの続柄 (c)  ▼  
 未成年後見人の場合は、その続柄  ▼

(d) その住所 (d) (郵便番号)  -      住所検索

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）

(e) その電話番号 (e)  -  -

その携帯電話の電話番号 (携帯)  -  -

(f) その勤務先と (f)

勤務先電話番号  -  -

※連帯保証人が無職の場合は、右記にチェックを入力してください。  無職

- (2) 保証人について入力してください。  
 ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。  
 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。  
 ・債務整理（破産等）中の人は、保証人への選任は認められません。

(a) その氏名

(a) 漢字（全角漢字）   姓   名

カナ（全角カナ）

(b) その生年月日 (b) (和暦)   ▼ 年  月  日生

(c) あなたとの続柄 (c)  ▼

(d) その住所 (d) (郵便番号)  -      住所検索

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）

(e) その電話番号 (e)  -  -

その携帯電話の電話番号 (携帯)  -  -

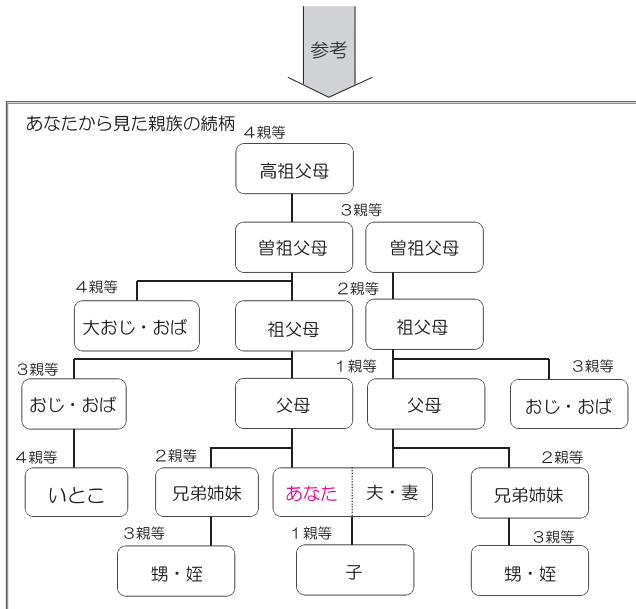
(f) その勤務先と (f)

勤務先電話番号  -  -

※保証人が無職の場合は、右記にチェックを入力してください。  無職

(g) 連帯保証人と保証人は別生計ですね。 (g)  はい  いいえ

※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の誓約日（B-誓約欄で入力した年月日）時点での年齢を元に判定を行います。



C-保証制度で(1)を選択した人に表示されます。  
 「奨学金案内」8ページを参照。

**注意！連帯保証人・保証人の入力をする前に、必ず事前にその方の承諾を得る必要があります。**  
 ここで入力した連帯保証人及び保証人は、採用されると返還誓約書に印字されます。返還誓約書の提出にあたっては、これらの方の署名・実印押印及び所定の書類が必要となります。返還誓約書や書類に不備があると奨学生の資格を失うこととなります。

(1) 連帯保証人とは  
 あなたと連帯して返還の責任を負います。  
**あなたが未成年の場合、連帯保証人には必ず親権者（または未成年後見人）を選任してください。**あなたが成年の場合も原則として父母を選任してください。父母を選任できない特別な事情がある場合は、未成年者を除く兄弟姉妹・おじおば等を選任してください。

(2) 保証人とは  
 あなたや連帯保証人が返還できなくなった場合、あなたに代わって返還する人です。  
 原則として、**父母を除く4親等以内の成年親族（図を参照）のうちあなたや連帯保証人と別生計の人を選任してください。**  
 また、申込時に65歳未満となる人を選任してください。

※あなたが貸与終了時に満45歳を超える場合は、連帯保証人や保証人は貸与終了時に満60歳未満の人でなければいけません。  
 ※あなたの配偶者及び未成年や学生等保証能力のない人を連帯保証人・保証人に選任することはできません。

※例外として、4親等以内の親族に該当しない成人を連帯保証人・保証人にする場合、及び65歳以上になる人を保証人に選任する場合は、返還総額の返還に保証できる人を選任してください。この場合、返還誓約書提出の際に認定基準額を満たした「返還保証書」及び資産等に関する証明書類の提出が必要となります。**なお、これらの人を選任する場合は、スカラーネット入力を行う前に、その人が認定基準額を満たしていることを収入・所得や資産等に関する証明書類により確認し、その証明書類を返還誓約書とともに提出する許可を得る必要があります。**これが困難な場合は別人物を選任するか機関保証制度を選択してください。

※連帯保証人・保証人の選任について、わからないことがあれば学校に確認してください。

・住所の郵便番号を事前に確認してください。郵便番号入力後、必ず住所検索ボタンを押してください。入力した郵便番号に該当する住所が「住所1」に表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所1」に表示された住所以降を「住所2」に入力してください。  
 ※下記の住所の入力例を参照してください。  
 ・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらも入力してください。

住所の入力例

(郵便番号)  162 -  9999  住所検索 ←押下

注意！  
 表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

住所1(自動入力)  ○東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目  
 ○東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目  
 ○東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目

住所2(番地以降)  99-9 機構ハイツ 505

注意！  
 ※番地以降を入力してください。入力漏れがあると次の画面に進めません。  
 なお、番地以降のない住所は、住所2欄に全角で「(ピリオド)」を入力してください。  
 ※マンション・アパートの名称にローマ数字 (I・II・IIIなど) は使用できません。算用数字 (1・2・3など) を入力してください。  
 ※住所2欄には、住所1欄の表示部分を入力しないでください。  
 上記例の場合、住所1欄で「1丁目」を選択し、住所2欄に誤って「1丁目99-9…」と入力した場合、届出内容は「1丁目1丁目99-9…」となります。

4親等以内の親族とは、「4親等以内の血族、配偶者、3親等内の姻族」を指し、おじ・おば・いとこ等のことです。

注意！  
**連帯保証人・保証人を入力する前に、必ずその方の承諾を得る必要があります。**  
 連帯保証人や保証人の続柄が適切でないことがされた場合は、エラー表示となり次の画面に進めません。  
 その場合は一旦入力を中断し、学校に相談してください。

2. 本人以外の連絡先について

(1) その氏名

	姓	名
(1) 漢字 (全角漢字)	<input type="text"/>	<input type="text"/>
カナ (全角カナ)	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(2) その生年月日

(2) (和暦) 年 月 日生

(3) あなたとの続柄

(3)

(4) その住所

(4) (郵便番号) -

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降)

(5) その電話番号

(5) --

その携帯電話の電話番号

(携帯) --

3. 親権者 (未成年後見人) について

※親権者とは、原則父母です。

(1) 親権者 (未成年後見人) 1 について入力してください。

- ・連帯保証人と親権者 (未成年後見人) 1 が同一である必要があります。
- ・連帯保証人欄の入力内容が自動で登録されます。

(a) その氏名

(a) 漢字 (全角漢字)	姓	名
カナ (全角カナ)	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(b) あなたとの続柄

(b)

未成年後見人の場合は、その続柄

(c) その住所

(c) (郵便番号) -

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降)

(d) その電話番号

(d) --

その携帯電話の電話番号

(携帯) --

(2) 親権者 2 について入力してください。親権者が 1 名の場合は (3) に進んでください。

(a) その氏名

(a) 漢字 (全角漢字)	姓	名
カナ (全角カナ)	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(b) あなたとの続柄

(b)

(c) その住所

(c) (郵便番号) -

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降)

(d) その電話番号

(d) --

その携帯電話の電話番号

(携帯) --

(3) 親権者 (未成年後見人) は 1 名のみでまちがいありません。(3) ○はい ○いいえ

※親権者とは、原則父母です。

C-保証制度で (2) を選択した人に表示されます。

機関保証に加入する人は、あなた (本人) 以外の連絡先を入力する必要があります。あなたに送付する重要な書類が届かない場合等に、ここに入力した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会することがあります。

注意! 「本人以外の連絡先」の入力をする前に、必ずその人の承諾を得てください。ここで入力した「本人以外の連絡先」は採用されると返還誓約書に印字されます。万一、返還誓約書に自署してもらえないと不備となり奨学生の資格を失うこととなります。

- ・住所の郵便番号を事前に確認してください。郵便番号入力後、必ず住所検索ボタンを押してください。入力した郵便番号に該当する住所が「住所 1」に表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所 1」に表示された住所以降を「住所 2」に入力してください。
- ※下記住所の入力例を参照してください。
- ・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

D-あなたの返還誓約書情報 1. (3) で未成年と判定された場合表示されます。

あなたが成年に関わらず 3. が表示される場合や未成年に関わらず 3. が表示されない場合

↓  
1. (3) で生年月日の入力の間違っている可能性があります。1. (3) に戻って、正しい生年月日に修正してから、再度「成年判定」ボタンを押してください。

※親権者とは、民法に定められた親権者のことで、あなたが未成年の場合は、**通常父母のことで**す。未成年後見人とは、親権者がいないとき、または親権を行う者が管理権を有しないときに、法定代理人となる人のことです。

住所の入力例

(郵便番号) 162 - 9999  ←押下

注意!  
表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

住所 1 (自動入力)  
○東京都 新宿区 市谷本村町 1 丁目  
○東京都 新宿区 市谷本村町 2 丁目  
○東京都 新宿区 市谷本村町 3 丁目

住所 2 (番地以降) 99-9 機構ハイツ 505

注意!  
※番地以降を入力してください。入力漏れがあると次の画面に進めません。  
なお、番地以降のない住所は、住所 2 欄に全角で「(ピリオド)」を入力してください。  
※マンション・アパートの名称にローマ数字 (I・II・III など) は使用できません。算用数字 (1・2・3 など) を入力してください。  
※住所 2 欄には、住所 1 欄の表示部分を入力しないでください。  
上記例の場合、住所 1 欄で「1 丁目」を選択し、住所 2 欄に誤って「1 丁目 99-9 …」と入力した場合、届出内容は「1 丁目 1 丁目 99-9 …」となります。



E-奨学金申込情報

1. あなたの希望する奨学金を1つ選択してください。
- (a). 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。
- (1) 第一種奨学金のみ希望します。
  - (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合第二種奨学金を希望します。
  - (3) 第二種奨学金のみ希望します。
- (b). 併用貸与を希望する人のみ記入してください。
- (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。
  - (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金のみ希望します。
  - (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
  - (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。
- (c). 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。
- (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。
  - (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。
  - (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
  - (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
- (d). 編入学した大学から「編入学奨学金継続」の認定を受けた人のみ記入してください。
- (12) 大学編入学後は第二種奨学金を希望します。
- 上記 (8)、(9)、(10)、(11) を選択した人は奨学生番号を記入してください。

奨学生番号

半角数字 (例:    )

F-あなたの在学情報

1. 学校
- (1) あなたの学校名を確認してください。 (1) ××大学
- (2) あなたの学籍番号を記入してください。 (2)
- (3) あなたの在学している学部(科)名を選択してください。 (3)
- (注) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。
- (4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。 (4) いいえ 専攻科 別科
- (5) 学年を記入してください。 (5)  学年
- (6) 昼夜課程を選択してください。
- (6) 昼 夜 昼夜開講 通年スクーリング 昼間スクーリング
- (7) あなたの入学年月を記入してください。 (7) 西暦(4桁) 年 月 入学
- (注) 2016年4月に3年次に編入学した人の場合、入学年月は2014年4月と記入してください。
- (8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。
- (8) 西暦(4桁) 年 月 卒業 予定
- (9) あなたの正規の修業年限を記入してください。 (9) 年 か月

2016年4月現在 1年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年	2016/4	2018/3
3年	2016/4	2019/3
4年	2016/4	2020/3
5年	2016/4	2021/3
6年	2016/4	2022/3

2016年4月現在 3年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
3年	2014/4	2017/3
4年	2014/4	2018/3
5年	2014/4	2019/3
6年	2014/4	2020/3

2016年4月現在 2年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年	2015/4	2017/3
3年	2015/4	2018/3
4年	2015/4	2019/3
5年	2015/4	2020/3
6年	2015/4	2021/3

2016年4月現在 4年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
4年	2013/4	2017/3
5年	2013/4	2018/3
6年	2013/4	2019/3

参考

「奨学金案内」26ページを参照のうえ、希望する1つを選択してください。

【奨学生採用候補者(以下「予約採用者」という。)の方へ】

奨学金の種類変更(第二種→第一種へ、または第一種→第二種へ)を希望する予約採用者は、以下のように入力してください。

- 予約採用の奨学生番号が決定している場合 →(8)または(9)を選択し、下の奨学生番号欄に予約採用の奨学生番号を記入する。
- 予約採用の奨学生番号が未決定の場合 →(a)の(1)または(3)を選択し、別途「変更希望」であることを学校担当者へ申し出る。

(c)第一種・第二種どちらか一方の予約採用者が、定期採用でさらにもう一方を申し込み、併用貸与を希望する場合は、以下のように入力してください。

- 第一種を予約、第二種を定期採用で申し込む→(10)
- 第二種を予約、第一種を定期採用で申し込む→(11)

なお、予約採用者で奨学生番号が未決定の場合、下の奨学生番号欄は入力不要です。

(d) (12) は使用しないでください。

(8) (9) を選択した人は必ず入力してください。

(2) 学籍番号に英数字以外の文字が使われている場合、学校の指示に従ってください。

(4) 専修学校は、「あなたは、正規の課程を修了後に専攻科に在学していますか。」という内容の表示になります。  
**大学・短大・専修学校全てにおいて、学校からの指示がない限り(4)は「いいえ」を選択してください。**

(5) 卒業年月に合わせた実質学年を入力してください。編入学の場合は編入した学年を入力してください。

(例)

- 2年次休学のため3年次へ進級できなかった場合→2学年
- 3年次編入→3学年

(6) 通常は「昼」または「夜」を選択します。昼夜開講は該当者のみ選択してください。スクーリング選択は通信制の学生のみです。

(7) 原則として実際の入学年月を入力しますが、編入学の場合は学校に確認してください。

(例)

- 2016年4月に3年次に編入学した場合 →2014年4月入学とします。

(8) 通常は正規の卒業予定年月を入力します。例えば新入生で2年課程の人は2018年3月になりますが、過去に休学や留年をしたことがある人は、入学当初の卒業予定ではなく、今現在の卒業予定期を入力してください。なお、年度途中修了など特別な事情により、卒業月が3月以外になる学部・学科に在籍する場合は学校に確認してください。

(9) 「修業年限」とは、あなたの学部・学科が何年課程のものかという意味です。  
**※現時点からあと何年通うかという意味ではありません。**入力間違いをしないよう注意してください。

(例)

- 4年課程の3年次に在学(編入)する人の修業年限は4年。
- 2年課程に在学し、1年次の途中で申込む人の修業年限は2年(15年ではありません)。

## G-奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

- (1) あなたは家族と同居していますか。 (1)  はい  いいえ  
 (2) あなたの希望する月額を1つ選択してください。  
 (家族と一緒に住んでいない人は、自宅外月額を希望することができます)

(2)  3万円  自宅月額  自宅外月額

- (3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。 (3)  はい  いいえ

「はい」と答えた人はこれまでに今回申込と同一学種で貸与を受けた第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。 奨学生番号

半角数字

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、   同意します

**(注) 制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。**

- (4) あなたは「地方創生枠推薦者」ですか。 (4)  はい  いいえ

基金設置団体から「地方創生枠」として推薦された人は、「はい」を選択してください。「はい」を選択すると、所定の番号を入力する画面が表示されます。入力する番号については、別途基金設置団体からお知らせする指示に従ってください。

貸与月額は「奨学金案内」5 ページを参照してください。

自宅外通学の場合でも、自宅月額を選ぶことができます。

過去に第一種奨学金を受けたことがある人は「はい」を選択してください。

**G-奨学金貸与情報** 1. (3) で「はい」と答えた人に表示されます。

学種とは大学・短期大学・専修学校等の別をいいます。

「地方創生枠推薦者」とは、地方公共団体と地元産業界が協力し、将来の地域産業の担い手となる学生等を応援する取組みとして、基金を設置した地方公共団体（基金設置団体）から推薦された人です。各都道府県において100名を上限として推薦されています。基金設置団体から「地方創生枠」としての推薦を受けていない人は、「いいえ」を選択して次に進んでください。

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

- (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。  
 (1)  3万円  5万円  8万円  10万円  12万円

- (2) あなたは私立大学の医学・歯学・薬学・獣医学課程に在学していますか。 (2)  はい  いいえ

- (3) はいと答えた人でかつ12万円の月額を選択した人のみ増額月額を希望することができます。あなたは（医・歯は4万円増、薬・獣医は2万円増）を希望しますか。  
 (3)  4万円  2万円  希望しない

(2) (3) は医・歯・薬・獣医学の増額に関する入力項目です。

※貸与月額について確認してください。

あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。

併用貸与を希望した人に表示されます。

この申込手續終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」欄に第二種奨学金の最高月額を必要とする「理由」をご記入いただくこととなります。

併用貸与を希望し、第二種奨学金で最高月額を選択した人に表示されます。

ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。  
 はい  いいえ

貸与月額が適切であることを確認後、「はい」を選択してください。

- (4) あなたは毎月分から貸与を希望しますか。  
 (4) 西暦(4桁)  年  月

(注) 奨学生採用後は貸与始期の変更はできません。

春の定期採用に申込みする人は、2016年の4～9月のいずれかの月を選択してください。  
 3. で入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は、2016年4月を選択してください。

3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。

- (1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。  
 1年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。

(1)  はい  いいえ

- (2) はいと答えた人は、希望する額を選択してください。  
 (2)  10万円  20万円  30万円  40万円  50万円

入学時特別増額貸与奨学金は、入学した学校において1回しか受けることができません。そのため、すでに、別の採用の種類で入学時特別増額貸与奨学金を申し込んだことがある場合は、「いいえ」を選んでください。編入学の人で入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は「いいえ」を選択して学校へ申し出てください。なお、入学時特別増額貸与奨学金は、「国の教育ローン」を利用できない人を対象としており、第二種奨学金と同様に有利子です。詳しくは「奨学金案内」5 ページを参照してください。

4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。

- (1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。  
 (1)  利率固定方式  利率見直し方式

返還時の金利の取扱いを選択する項目です。詳しくは「奨学金案内」27 ページを参照してください。

## H-あなたの履歴情報

1. あなたの最終学歴を記入してください。

1. 西暦（半角数字4桁）  年  月   ▼ 卒業または退学

2. 高等学校卒業程度認定試験に合格した人はその年月を記入してください。

2. 西暦（4桁）  年  月 高等学校卒業程度認定試験合格

3. あなたはこれまでに日本学生支援機構あるいは日本育英会の奨学金の貸与を受けたことがありますか。 3.  はい  いいえ

「はい」と答えた人はその時の奨学生番号を記入してください。

※貸与を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押して、すべての奨学生番号を記入してください。

※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

奨学生番号 1    ▼

半角数字	例	奨学生番号	1	<input type="button" value="削除"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	▼	<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>
		奨学生番号	2	<input type="button" value="削除"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	▼	<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>
		奨学生番号	3	<input type="button" value="削除"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	▼	<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>
		奨学生番号	4	<input type="button" value="削除"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	▼	<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>
		奨学生番号	5	<input type="button" value="削除"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	▼	<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>

※第二種奨学金の貸与について確認してください。

あなたは、これまでに同一の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。

日本学生支援機構の規定により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や借りられる期間が制限される場合があります。  確認しました

「はい」と答えた人は必ず奨学生番号を入力してください。この欄には貸与が終了したもののみ入力し、現在貸与中のものは、E-奨学金申込情報に入力してください。

高校在学中に、都道府県等（日本学生支援機構及び日本育英会以外）から奨学金の貸与を受けていた人は、「いいえ」を選んでください。高等学校及び専修学校高等課程の奨学金は、平成17年度入学者より、日本学生支援機構から各都道府県に移管されました。

H-あなたの履歴情報 3で「はい」と答えた人に表示されます。

複数ある場合は「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。

同一の学校区分（大学・短期大学・高等専門学校・専修学校等）で2回以上第二種奨学金の貸与を受けている人に表示されます。

1-あなたの家族情報

1. 家族住所

- (1) 家族住所とあなたの住所は同じですか。 (1) はい いいえ  
 (2) 家族住所の電話番号を記入してください。 (2) --

あなたの住所とは現住所を指します。

2. あなたの家族の人数

- (1) 家族全員（あなたを含む）の人数を記入してください。 (1) 人  
 (2) 家族のうち就学者（あなたを含む）と就学前の弟妹の人数を合わせて記入してください。 (2) 人

申込者と生計が同一である全員が該当します。別生計にある兄弟姉妹、祖父母などは含めません。

就学者とは、小・中・高等学校、高等専門学校、専修学校（高等課程・専門課程）、大学（短期大学・通信制・専攻科・職業技能別科を含む）、大学院に在学する人のことです。科目履修生、上記以外の別科生、聴講生、研究生、予備校生、一般課程の専修学校生、各種学校生は就学者に該当しません。わからないことがあれば、学校に確認してください。

3. あなたと同一生計の家族（就学者及び、就学前の弟妹を除く）について記入してください。

- (1) 主として家計を支えている人（父母のいずれか、父母がいない場合は代わって家計を支えている人）  
 (a) あなたとの続柄 (a) ▼  
 姓 名  
 (b) その氏名 (b) 漢字（全角漢字）   
 カナ（全角カナ）   
 (c) その生年月日 (c) (和暦) ▼年 月 日生  
 (d) 職業（該当する項目をすべて選択してください。）  
 給与所得  商・工業、個人経営  農・林・水産業  自由業  その他  無職  
 (e) 昨年1年間の所得金額（複数の収入がある場合は、1）、2）別に）を記入してください。  
 1) 給与所得の場合 1) 源泉徴収票等における支払金額  万円  
 2) 給与所得以外の場合 2) 確定申告の控における収入・売上金額  万円  
 所得金額  万円

主として家計を支えている人の入力必須です。

(e) 家計支持者の昨年の収入額を収入に関する証明書に基づいて入力してください。（1万円未満切り捨て）。平成27年1月2日以降に転・退職した場合は、源泉徴収票や確定申告の金額を計上できませんので、「奨学金案内」14～18ページを参照し、入力内容をよく確認してください。自営業で確定申告等をしていても給与所得額がある場合は、1) 源泉徴収票における支払金額を入力してください（昨年1年以内に転・退職した人を除く）。年金受給者も給与収入になります。  
**緊急・応急採用の申込みをする人は、昨年1年間の所得金額ではなく、家計急変後の収入（年収見込）を入力してください。**

(2) その他に家計を支えている人

- (a) あなたとの続柄 (a) ▼  
 姓 名  
 (b) その氏名 (b) 漢字（全角漢字）   
 カナ（全角カナ）   
 (c) その生年月日 (c) (和暦) ▼年 月 日生  
 (d) 職業（該当する項目をすべて選択してください。）  
 給与所得  商・工業、個人経営  農・林・水産業  自由業  その他  無職  
 (e) 昨年1年間の所得金額（複数の収入がある場合は、1）、2）別に）を記入してください。  
 1) 給与所得の場合 1) 源泉徴収票等における支払金額  万円  
 2) 給与所得以外の場合 2) 確定申告の控における収入・売上金額  万円  
 所得金額  万円

父母のうち上記(1)に入力した方でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、職業・無職、1) 給与所得「0」万円と入力してください。  
 ※一人親の場合は(2)の入力は不要です。  
 ※父母ともいない場合で代わって家計を支えている人が2人いるときは、1人目を(1)、2人目を(2)に入力してください。

(3) 就学者および就学前の弟妹を除く家族（前記の(1)(2)の家族を除く）

続柄	姓	名	年齢
<input type="text"/> ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/> ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/> ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/> ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

(3) に入力する家族は、上記3.(1)で入力した主な家計支持者、上記3.(2)で入力したその他の家計支持者、就学者、就学前の弟妹  
 を除いた同一生計の家族について入力してください。

4. あなたの他に就学者及び就学前の弟妹がいる場合は、全員記入してください。

続柄	姓	名	学校設置者	在学している学校	通学別
<input type="text"/> ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> ▼	<input type="text"/> ▼	<input type="text"/> ▼
<input type="text"/> ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> ▼	<input type="text"/> ▼	<input type="text"/> ▼
<input type="text"/> ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> ▼	<input type="text"/> ▼	<input type="text"/> ▼
<input type="text"/> ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> ▼	<input type="text"/> ▼	<input type="text"/> ▼

あなたを除く就学者及び就学前の弟妹について入力してください。学校設置者とは、国立・公立・私立の別のことです。通学別とは、自宅通学・自宅外通学の別のことです。



J-特記情報

1. あなたの支払っている年間の授業料を記入してください。

1.  万円

2. あなたの家族は母子または父子家庭ですか。

2.  はい  いいえ

3. 家族の中に障害のある人（常に就床を要する介護の必要な人等を含む）がいますか。

3.  はい  いいえ  
 人

4. 主に家計を支えている人が単身赴任等で別居していますか。

4.  はい  いいえ  
 万円

「はい」と答えた人は、別居による住居・光熱・水道・家具・家事用品の年間の実費を記入してください。

5. あなたの家族に6ヶ月以上にわたり療養中の人または療養を必要とする人がいますか。

5.  はい  いいえ  
 万円

「はい」と答えた人は、療養のために必要な1年間の支出金額を記入してください。

6. この1年間に火災・風水害又は盗難などの被害を受けたことがありますか。

6.  はい  いいえ

「はい」と答えた人で、長期（2年以上）にわたって支出の増加又は収入の減少がある場合、その1年分の金額を記入してください。

支出の増加  万円  
収入の減少  万円

7. 災害・震災に被災したことがある人で、被災した災害・震災が選択肢の中に含まれている場合は該当のものを選択してください。

▼

この項目をスカラネットで入力するには、学校の認定を受ける必要があります（「奨学金案内」21ページ参照）。必ず学校へ申し出て、関係書類を学校へ提出し、指示に従って入力してください。各項目の金額で1万円未満は切り上げてください。

1. 入学金、教材費、実習費、施設費などは授業料に含めません。授業料減免を受けている場合は授業料から相当額を差し引き、算出してください。

2. 父母のいずれか1人と18歳未満の子（就学者は18歳以上でも可）、60歳以上の経済力のない祖父母（所得金額が50万円未満）と18歳未満の子の世帯等が対象です。

3. 該当者（本人を含む）がいる場合は、身体障害者手帳等のコピーを学校に提出してください。

4. 上限は71万円です（合計金額から1万円未満切り上げ）。単身赴任先の住居・光熱・水道・家具・家事用品の領収書のコピーを学校に提出してください。

5. 該当者がいる場合は、医療費等の領収書のコピーを学校に提出してください（合計金額から1万円未満切り上げ）。

6. 被害を受けたことを証明する書類のほか、支出の増加額、または収入の減少額の算出の基となる書類を学校に提出してください（合計金額から1万円未満切り上げ）。

プルダウンから該当の災害を選択してください。※「東日本大震災」を選択できる方は、第一種奨学金を希望した方で、証明書類の提出により、機構の基準に該当する被災者と認められる方に限ります。そのため「東日本大震災」を選択する前に、まずは学校へ相談してください（被災者と認められない場合、「東日本大震災」は選択できません）。

家庭事情情報は、全員入力をする必要があります。特に、緊急・応急採用の申込みをする人は、家計急変の事情をできるだけ詳しく入力してください。

併用貸与を希望し、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、最高月額を必要とする「理由」も入力してください。

K-家庭事情情報

1. 奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください。（全角200文字以内、下の記入欄をご利用ください）

注）主に家計を支えている人が無職（失職）の場合には、その無職（失職）となった年月、理由、現在の生活費の出所等を具体的に記入してください。

Grid for entering family situation information.

**注意！口座情報に間違いがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。**

**奨学金の貸与を継続して受けるためには、スカラネット・パーソナルへの登録が必須であり、登録には、振込口座情報が必要です。通帳のコピーを本紙に貼付しておくことをお勧めします。**

8/8

### L-奨学金振込口座情報

1. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。 1. ○銀行等 ○ゆうちょ銀行

#### 【銀行等を選択した場合】

金融機関名および支店名を選択してください。

- (1) 右のボタンを押して金融機関名の読みの先頭1文字を選択してください。 (1)  ▼
- (2) 金融機関名を選択してください。 (2)  ▼
- (3) 右のボタンを押して支店名の読みの先頭1文字を選択してください。 (3)  ▼
- (4) 支店名を選択してください。 (4)  ▼

2. 預金通帳等で確認後、口座番号を入力してください。

2. 普通（総合）口座

確認のため、再度口座番号を入力してください。

確認用

3. 口座名義人を入力してください。

半角数字

(口座名義人は本人に限ります)

3. 口座名義人（全角カナ）  姓  名

#### 【ゆうちょ銀行を選択した場合】

2. 貯金通帳等で確認後、口座の記号-番号を入力してください。

2. 記号-番号  記号  -  番号

確認のため、再度口座の記号-番号を入力してください。

確認用  記号  -  番号

3. 口座名義人を入力してください。

半角数字

(口座名義人は本人に限ります)

3. 口座名義人（全角カナ）  姓  名

#### 口座名義人欄の入力について

※姓と名でそれぞれ15文字まで入力できます。

※姓が15文字以上ある人は、15文字まで姓に入力し、16文字以降は名に入力してください。

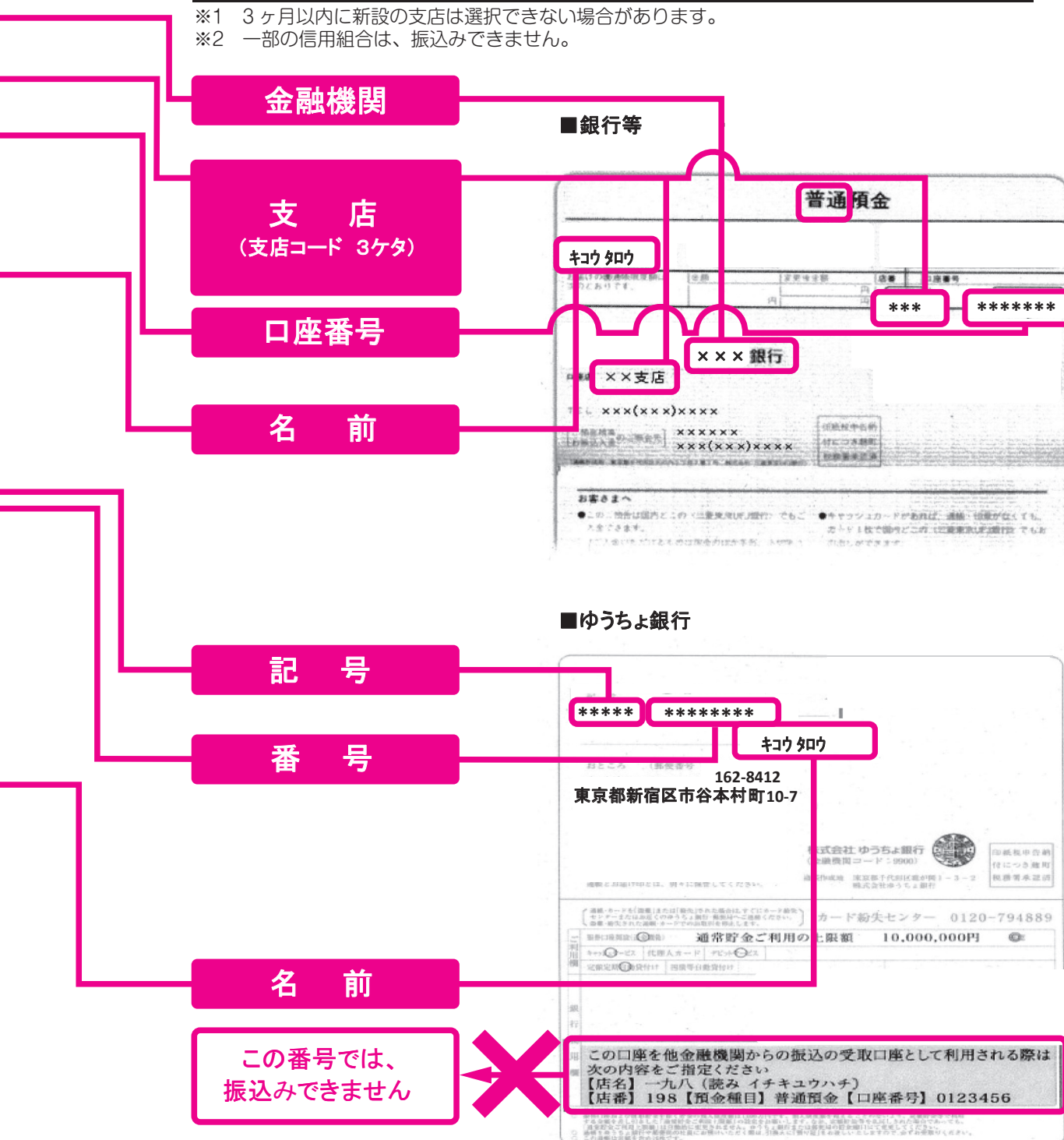
※ミドルネームがある人は、名の欄に『ミドルネーム』と『名前』をスペースなしで入力してください。

※ 通帳コピーの貼付・提出方法については、  
学校の指示に従ってください。

チェック	奨学金を受け取れる口座は、下記6点の確認が必要です！
① <input type="checkbox"/>	学生本人の預・貯金口座ですか。
② <input type="checkbox"/>	銀行等の普通預金または、ゆうちょ銀行の通常貯金口座ですか。
③ <input type="checkbox"/>	誓約欄と通帳の名前（カナ）が同じですか。
④ <input type="checkbox"/>	支店名と支店コード（3ケタ）は正しいですか。※1
⑤ <input type="checkbox"/>	この通帳は、1年以内に記帳できましたか。（＝休眠口座になっていない）
⑥ <input type="checkbox"/>	信託銀行、農協、外資系銀行、新生銀行、あおぞら銀行、新銀行東京、ネットバンク、コンビニ銀行等は、振込みできません。※2

※1 3ヶ月以内に新設の支店は選択できない場合があります。

※2 一部の信用組合は、振込みできません。



貼り付け【通帳の見開きの1ページ目などのコピー（A4サイズ）】

□一緊急・応急採用情報

1. 家計急変の事由を1つ選択してください。

注) (5) ~ (8)、(10) ~ (12) までは各事由により著しく支出が増大または収入が減少したものの。

(15) は家計支持者からの補助を受けずに、本人収入のみで就学している場合のみ。

- (1) 家計支持者が会社の倒産等により解雇または早期退職したため。
- (2) 家計支持者が死亡したため。
- (3) 家計支持者が離別したため。
- (4) 家計支持者が破産したため。
- (5) 病気
- (6) 事故
- (7) 会社倒産
- (8) 経営不振
- (9) その他家計支持者の給与収入が激減したこと等によるため。
- (10) 火災
- (11) 風水害
- (12) 震災
- (13) 災害救助適用者であるため。
- (14) 学校廃止
- (15) 本人の収入減少及び支出増大に伴う経済困難

2. 家計急変の事由が生じた年月を記入してください。 2. 西暦(4桁) 年月

3. 緊急採用(第一種)奨学金を申込みの人のみ、希望する貸与始期を記入してください。 3. 西暦(4桁) 年月

4. 家計基準該当事由を選択してください。

- (1) 今後1年間の所得金額が収入基準額以下になるため。
- (2) 年間の支出金額が著しく増大又は収入金額が著しく減少したため。  
(この場合下記A・B欄を記入してください。)
- (3) その他上記以外の家計急変により就学継続が困難のため。

(注) 4で(2)を選択した人のみ以下のA・B欄を記入してください。

A. 事由発生以前の1年間の所得額

1) 主として家計を支えている人

- a) 続柄 a) ▼
- b) 給与所得の場合 b) 源泉徴収票等における支払金額 万円
- c) 給与所得以外の場合 c) 確定申告の控における収入・売上金額 万円  
所得金額 万円

2) その他に家計を支えている人

- a) 続柄 a) ▼
- b) 給与所得の場合 b) 源泉徴収票等における支払金額 万円
- c) 給与所得以外の場合 c) 確定申告の控における収入・売上金額 万円  
所得金額 万円

B. これまでに特別に支出した額、またこれから特別に支出が見込まれる額を記入してください。(家屋・家財復旧費、医療費等) 事由 金額  
(例: 台風による家屋の損壊)

これまでに   万円  
全角10文字以内  
これから   万円

(注) この情報欄は、申込画面においては7/8画面の「K-家庭事情情報」欄の後に表示されます。緊急・応急採用の申込者のみ記入してください。

(15) この事由により申込みをする場合は学校で認定を受ける必要があります。

貸与始期は、家計急変事由が生じた年月(申込みから12か月以内。入学した月を限度として遡及可)以降を選択してください。休学、留年(休学等の学籍異動のため同一学年を引き続き再履修している人を除く)、留学に相当する間を貸与始期にすることはできません。

4. 上記1.(家計急変事由)で(1)~(4)、(7)~(9)を選択した人は(1)を選択しA欄を記入してください。

(5)~(6)、(10)~(13)を選択した人は(2)を選択し、A・B欄を記入してください。

(14)を選択した人は(3)を選択しB欄を記入してください。

A. 事由発生以前の1年間の所得状況について、収入証明に基づいて入力してください(必須)。父母のうち主として家計を支えている人を1)に入力してください。2)には、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、b)給与所得「0」万円と入力してください。  
※一人親の場合は2)の入力は不要です。  
※父母ともいない場合で代わって家計を支えている人が2人いるときは、1人目を1)、2人目を2)に入力してください。  
家計急変後の収入(年収見込)は、「I-あなたの家族情報」に入力してください。

B. 病気・事故・火災・風水害・震災により、生命・損害保険等を受けてもなお、支出が著しく増大した等を事由とする場合、証明書に基づいて、支出事由を明らかにしたうえで、これまでの費用とこれからの支出見込額を入力してください。

記入内容を点検しましょう!

- 氏名は本名で記入しましたか?
- 住所・電話番号をきれいに正確に記入しましたか?
- 収入・所得金額について、該当する欄に該当する数字を記入できていますか?
- 家族人数は、別生計の家族を除いた人数になっていますか?
- 口座番号を正確に記入しましたか?